

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●「マイナポイント第2弾で獲得した20,000円ポイントはまもなく失効します」…事務局騙るフィッシングに注意喚起

<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/1490571.html>
https://www.antiphishing.jp/news/alert/myna_20230331.html
https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/flow/mnp-get/security_measures/alert/



このニュースをザックリ言うと…

- 3月31日(日本時間)、[フィッシング対策協議会](#)より、[マイナポイント事務局を騙るフィッシング](#)が確認されたとして注意喚起がなされています。
- 対策協議会が挙げているフィッシングメールの例は、件名が「[【マイナンバーカード】マイナポイント第2弾で獲得した20,000円ポイントはまもなく失効します](#)」、本文が「[マイナポイント第2弾で20,000円のマイナポイントを獲得しましたが、まもなく無効になります。期限内に請求するように注意してください。](#)」で始まり、応募専用サイトを騙り[個人情報やクレジットカード情報を詐取するフォームへ誘導するもの](#)となっています。
- 同協議会では、[今後も類似したフィッシングサイトが公開される可能性がある](#)とし、このようなフィッシングサイトにて、[個人情報・カード番号](#)あるいは[メールアドレス・パスワード等](#)を入力しないよう警告しています。

AUS便りからの所感等

- [総務省](#)ではこれよりも前から[マイナポイント](#)に便乗した詐欺に注意を呼び掛けるページを用意しており、[総務省や市区町村の職員、その関係者等が「マイナンバーや金融機関の口座番号、口座の暗証番号、資産の情報、家族構成などの個人情報などを伺うこと」「通帳やキャッシュカードを預かったり、確認すること」「金銭を要求したり、手数料の振込みを求めること」は絶対ない](#)としています。
- 例にあるフィッシングサイトは、ページの一部において「[ミナポイント](#)」という誤記がある他にも、[実際の申込ページで行うマイナンバーカードでの本人確認を行っていない](#)という注意点があります。
- 今後例示された以外の件名や文面のメールが用いられることはもちろん、[偽の本人確認](#)を行ったりするケースも発生し得ますが、[総務省やフィッシング対策協議会からの呼び掛け、あるいはSNSでの報告等](#)に基づき、[メール・アンチウイルス・UTM等によるアンチフィッシング機能を有効にするとともに、実際に使用するサービスのサイトは\(例えアクセスする頻度が少なくとも\)ブックマークに登録してそこからアクセスすることを心掛けてください。](#)



マイナポイント事務局をかたるフィッシング (2023/03/31)

2023年03月31日

概要

マイナポイント事務局をかたるフィッシングの報告を受けています。

メールの件名

【マイナンバーカード】マイナポイント第2弾で獲得した20,000円ポイントはまもなく失効します

※上記以外の件名も使われている可能性があります。

詳細内容

マイナポイント事務局をかたるフィッシングの報告を受けています。

- 2023/03/31 14:00 時点では、フィッシングサイトは稼働中であり、JPCERT/CC にサイト閉鎖のための調査を依頼中です。類似のフィッシングサイトが公開される可能性がありますので、引き続きご注意ください。
- このようなフィッシングサイトにて、メールアドレス、パスワード、氏名、氏名フリガナ、生年月日、電話番号、郵便番号、都道府県、市区町村、丁目、番地、建物名、マンション名、郵便番号、クレジットカード情報 (カード番号、カード名義人、有効期限、カードセキュリティコード)、3-D セキュアの認証情報 (Web サービスアカウント、Web サービスの / (スラッシュ) 等を、絶対に入力しないよう、ご注意ください。
- 日頃から個人情報やクレジットカード情報等の入力要求された場合は、入力する前に一度立ち止まり、似たようなフィッシングや詐欺事例がないかを、確認するようにしてください。また、サービスへの登録や契

メール本文

マイナポイント第2弾で20,000円のマイナポイントを獲得しましたが、まもなく無効になります。期限内に請求するように注意してください。

マイナポイントとは?
マイナポイントは【マイナンバーカード】と【マイナポイント】で利用できる20,000円のポイントで、マイナポイントの申請やマイナポイントの利用は下記のとおりです。

マイナポイントとは?
マイナポイントは【マイナンバーカード】と【マイナポイント】で利用できる20,000円のポイントで、マイナポイントの申請やマイナポイントの利用は下記のとおりです。

マイナポイント事務局をかたるフィッシング
https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/flow/mnp-get/security_measures/alert/

マイナポイント事務局をかたるフィッシング
https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/flow/mnp-get/security_measures/alert/

マイナポイント事務局をかたるフィッシング
https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/flow/mnp-get/security_measures/alert/

サイト

マイナポイントの申込み方法

マイナポイントの申込

●IPAサイトリニューアルで大量のリンク切れ発生…批判受け改善を約束

<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1490762.html>
<https://www.ipa.go.jp/news/2023/announce/20230403.html>



このニュースをザックリ言うと…

- 3月31日(日本時間)、**情報処理推進機構(IPA)**のWebサイトのリニューアルに伴い、**過去のコンテンツのリンク切れが大量に発生**しているとSNS等で報告されています。
- コンテンツが存在していたURLへのアクセスは、その**多くが「404 Not Found」エラーが返るようになり、リニューアル後のコンテンツへのリダイレクト等も行われていない**ことが確認されています。
- 多数の批判があったことから、**4月3日にはIPAより、一部コンテンツのみリダイレクトを行っていたこと、今後重要な事業については全てのコンテンツをリダイレクトするよう改修**することが発表されています。

AUS便りからの所感



- AUS便りでも過去たびたび**PAのサイトへリンク**していますが、**多くがリンク切れ**となっています。

- 各種**サーチエンジン**や、Googleを使用している**PAのサイト内検索**では、**タイトルで検索した場合に新URLが表示される場合があります**が、4月4日時点では**全てのコンテンツに対応していない**模様です。

- また、**インターネットアーカイブ**(<https://web.archive.org/>)や**国会図書館のWARP**(<https://warp.da.ndl.go.jp/advancedsearch/>)から**旧サイトのURLの入力でアクセスできる場合があります**(ただし後者は1月13日時点のコンテンツとなります)。

- Webサイトリニューアルによって**URLが変動し、既存のコンテンツへのアクセスができなくなったり、困難になったりする状態**は、即ちWebサービスの**「可用性」が損われており、リニューアルしても同じURLで同様の内容のコンテンツが提供される**ことが理想ですが、それができないというのであれば、**サイト上にあるHTMLやAPIから、ダウンロードされる文書に至るまでURLを洗い出し、新しいURLへのリダイレクトを行うよう設定**することが、**可用性を維持するために重要**となります。

大量のリンク切れをIPAが謝罪 ~重要コンテンツは原則、全件リダイレクトへ

「脆弱性対策情報」や「情報処理安全確保支援士」、白書などが対象

橋井 秀人 2023年4月4日 07:55



Webサイトのリニューアルで大量のリンク切れが発生している件に関し、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) は4月3日、謝罪の文書を公表した。IPAのコンテンツが資料として社内で活用されており、大きな影響がでるという認識が不十分であったとし、コンテンツへのアクセスを確保するため、リダイレクトの追加対応を早急に進めていくとしている。

●「ぷらら」「ひかりTV」ユーザー個人情報約529万件、業務用PCから流出か

<https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/1490414.html>
https://www.docomo.ne.jp/info/notice/page/230331_00_m.html



このニュースをザックリ言うと…

- 3月31日(日本時間)、**NTTドコモ**より、同社運営する**「ぷらら」**および**「ひかりTV」ユーザーの個人情報**が**流出した可能性**があると発表されました。
- 被害を受けたとされるのは、各サービスのユーザー**最大529万件の氏名・住所・電話番号・メールアドレス・生年月日・フレッツ回線ID・お客さま番号**とされています(**クレジットカードおよび口座情報は含まれていない**とのことです)。
- 同30日に、同社が**業務を委託**している企業において、**業務に使用するPCから情報が流出した可能性**があるとしています。

AUS便りからの所感



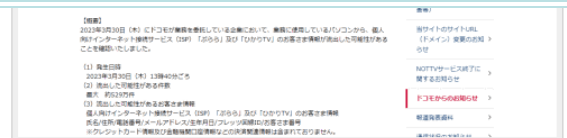
- ネットワーク監視によって当該PCからの流出が確認、**当該PCはネットワークから隔離**され、現在も詳細は調査中とのこと

- 大量の個人情報の流出元がクライアントPCであったとして、ユーザー情報を保管する**サーバーへの不正アクセスの踏み台**とされたのか、**それ以外の何らかの理由で個人情報が保存されていた**のか等は**今後調査結果の発表で明らかになる**でしょう。

- 社内ネットワークに接続されるデスクトップPCにせよ、外部に持ち歩くノートPCにせよ、**個々の従業員のPCに常時多数の機密情報・個人情報**を保存するのではなく、**厳密に管理され、アクセス履歴が記録されるサーバー(オンプレミスである必要はありません)**上から**必要最小限の情報を参照**する、あるいは**PCIに保存しても用が済んだら消去**する等により、**マルウェア感染や不正アクセス時のリスクを最小限に抑止**する情報管理体制をとるべきでしょう。

「ぷらら」、「ひかりTV」の顧客情報約529万件が流出の可能性。現在調査中

関根 慎一 2023年4月3日 09:39



株式会社NTTドコモは3月31日、インターネットサービスプロバイダ「ぷらら」および「ひかりTV」の顧客情報約529万件が流出した可能性があると発表しました。

3月30日、両サービスに関する業務を委託している企業のPCから顧客情報が流出した可能性があることをネットワーク監視によって確認したとしている。顧客情報には、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、生年月日、フレッツ回線ID、お客さま番号が含まれているが、クレジットカード情報や金融機関口座情報など決済に関わる情報は含まれていないという。